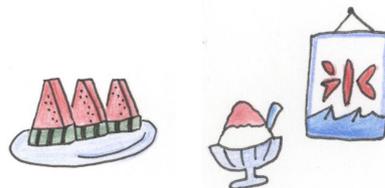


重要文化的景観選定に向けての取り組み

甲州市と山梨大学では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」を重要文化的景観として国に選定されるための取り組みを共同研究としておこなっています。「文化的景観」とは、地域のひとがその土地特有の自然と関わり、生活や生業を営むなかで形成された景観です。

今回は、6月に開催した講座・散策の様子や、これまでの調査から明らかになった勝沼地域の地形・地質の特性について紹介します♪

地形・地質から学ぶ講座・散策を開催しました！



6月21日(金)・23日(日)に、「塩ノ山と向嶽寺、その南麓を巡る。」をテーマに地形・地質から学ぶ講座&散策会を開催しました。このイベントは、今年2月に開催された、「ぶどうの丘を地形・地質から巡る散策会～ぶどうの丘はどうして丘になったのか?～」の第2弾となる企画です。

今回も山梨県立大学特任教授で、市の文化的景観調査委員長を務めていただいている輿水達司先生をお招きしました。市内外から集まった約80名の参加者の皆さまと、講座で文化的景観調査から明らかになった甲州市の特性を学び、輿水先生のご案内のもと実際に現地を歩き、地形・地質の視点から地域の成り立ちを読み解きました。

文化的景観と自然特性?

文化的景観調査は、「自然」、「歴史」、「生活又は生業」の3つの観点から実施します。調査の観点①「自然」は、「地形・地質」、「気候・気象」、「水系・水利」、「生物相」、「自然災害」等について調査し、地域に根ざした生活・生業、その空間の形成を促した自然的特性を把握します。



実際に自然特性(地形・地質)の調査を行ってくださった、輿水先生から「塩ノ山とぶどうの丘はどのようにできたのか」を教えていただきました!! (裏面へ)



News

ぶどうとワインの資料展開催

甲州市立勝沼図書館では、地域に根ざした図書館を目指して「ブドウ・ワイン」に関する資料の収集・保存・提供に努めています。

今年度のブドウとワイン展は、「令和 受け継ぎ 受け継がれ 未来へつなぐブドウのカタチ ワインのカタチ」をテーマに資料の展示を行います♪

- 開催期間 9月28日(土)～11月28日(木)
- 開催場所 勝沼図書館(甲州市勝沼町下岩崎1034-1)



ぶどうとワインの資料展連動企画セミナー 「明治十年全十一年中往復記録」を読む



140年前、勝沼からワイン醸造を学びにフランスへ旅立った高野正誠と土屋龍憲。往復記録を読み解きながら、2人の時代へタイムスリップしてみよう!

- 開催日時 第8回 9月15日(日) 第9回 10月13日(日)
第10回 11月17日(日) 第11回 12月22日(日)
全日程とも午後2時～3時半
- 開催場所 勝沼図書館視聴覚室
- 講師 甲州市教育委員会文化財課文化財指導監
小野正文氏

お問い合わせ先
勝沼図書館 TEL:0553-44-3746(みなよむ)
FAX:0553-44-3811

塩ノ山とぶどうの丘はどのようにできたのか

塩ノ山とぶどうの丘は、甲府盆地の東部に奇妙な山(丘)として認められます。この地形のでき方については、甲府盆地を含む日本列島における地形や地質の形成史の中で理解されるものです。具体的には、“かつての南海トラフに堆積した地層”が伊豆半島の衝突などで北に移動し、さらに本州中央部の屈曲史を経て、結果的に過去の海底堆積物が甲府盆地の西～北～北東域に高標高の南アルプス・大菩薩山系等の山として形成されたわけです(図1)。

その後、これら高標高域の山地の浸食・運搬作用により、相対的に低標高の甲府盆地側に土砂運搬が活発になる過程で、甲府盆地周辺域には概して規模の大きな扇状地が形成されました。たとえば、盆地西部の御勅使川扇状地、盆地北東部の勝沼扇状地などに見られます。この扇状地形成のプロセスを、塩山・勝沼・一宮地域の地質分布として示しました(図2)。

この図2で示される青系が海底堆積物の四万十帯、オレンジ・ピンク系は四万十帯に貫入した花崗岩類です。塩山市街地と勝沼町東部の2カ所に、四万十帯(青系)が“飛び石の分布”として認識できます。この飛び石の位置には、塩山市街地の「塩ノ山」、勝沼町東部の「ぶどうの丘」があります。これらの飛び石は、今から数万年前頃、背後に分布する青系地域の四万十帯と一体の地層として分布していました。

つまり、塩ノ山とぶどうの丘は、かつてその背後に分布する四万十帯の地質と一体であり、一体であった当時の河川は現在とは別のルートを流れてたと推定できそうです(図2)。

その後の時間経過の中で、背後の土砂流出などで河川の流れが変化・発達することにより、塩ノ山とぶどうの丘が分断され、現在のように孤立分布することになった、と考えると大きな矛盾はなさそうです。

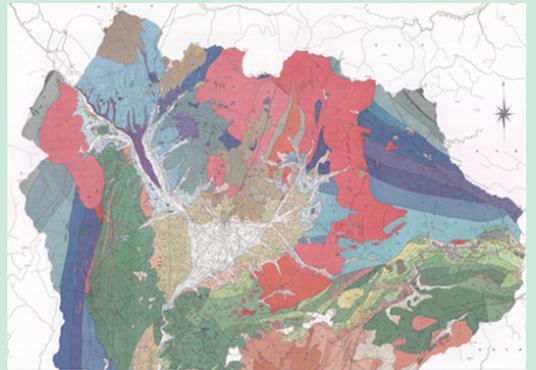


図1:山梨県の地質図
(山梨県地質図編纂委員会/1970)

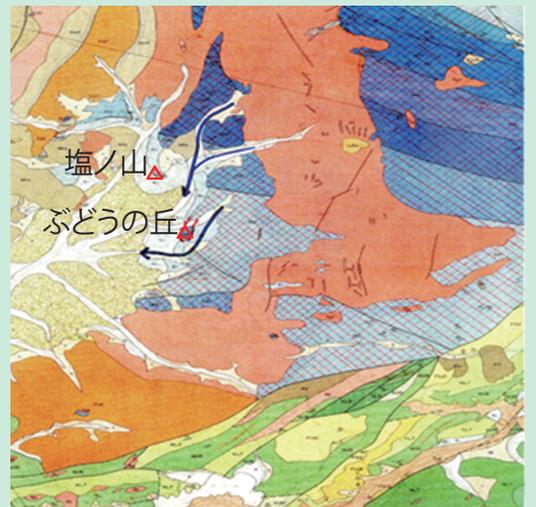


図2:塩山・勝沼・一宮地域の地質分布
(山梨県地質図編纂委員会/1970)

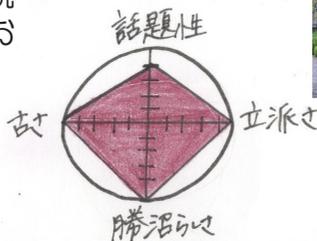
山梨県立大学特任教授 奥水達司

今日の勝沼ワンポイント💡

collection 5 大善寺

大善寺は、ブドウを持つ「葡萄薬師如来」の伝説がある平安初期の坐像が本堂(国宝)に安置されており、甲州ブドウ発祥の地とも伝えられています。

大善寺本堂は、鎌倉時代の密教本堂の代表例で、県内最古の建造物です。



編集後記📖

今回は夏秋合併号とさせていただきます。本紙をご覧いただいている頃には、秋風が心地よい時節になっているでしょうか。

甲州市教育委員会では、勝沼地域が育んできた歴史や文化、“勝沼らしさ”を講座や見学会などを通して発信しています。今後もより地域の皆さまと一緒に学び、未来に受け継いでいくための取り組みを行っていきます！



かつぬま旬報 vol.6 Winter2019は
12月1日発行予定です。

令和元年(2019)9月1日 発行

編集・発行: 甲州市教育委員会文化財課
山梨県甲州市塩山上於曾 1085 番地 1
TEL: 0553-32-5076
FAX: 0553-32-5172

編集協力: 山梨大学観光まちづくり研究室

イラスト: 岩田美耶(山梨大学)

詳しくは [勝沼 文化的景観](#) 🔍